

学会賞受賞講演

2020年10月31日



公益財団法人

未来工学研究所

INSTITUTE FOR FUTURE ENGINEERING

授賞式未来研同行者(研究・イノベーション学会会員)

(氏名50音順)

研究職所員

氏名	所属
大熊 和彦	研究参与
太田 与洋	研究参与
大竹 裕之	主任研究員
小沼 良直	主席研究員
多田 浩之	主席研究員
田中 好雄	アクティブシニア
田原 敬一郎	主任研究員
永野 亜紀	特別研究員
野呂 高樹	主任研究員
橋本 健	研究参与
林 隆臣	主席研究員
平澤 冷	上席研究員
宮下 永	研究参与
宮林 正恭	研究参与
山本 智史	研究員
依田 達郎	主席研究員

役員・評議員

氏名	所属
平澤 冷	理事長
相澤 益男	理事
武田 康嗣	理事
内藤 哲雄	理事
林 隆之	理事
原山 優子	理事
吉海 正憲	理事
小林 信一	監事
伊地知 寛博	評議員
上谷 達也	評議員
大熊 和彦	評議員
桑原 裕	評議員
調 麻佐志	評議員
隅藏 康一	評議員
丹羽 富士雄	評議員

職員数の内訳と推移

世界シンクタンクランキング科学技術政策部門

8位

8位

6位

5位

5位

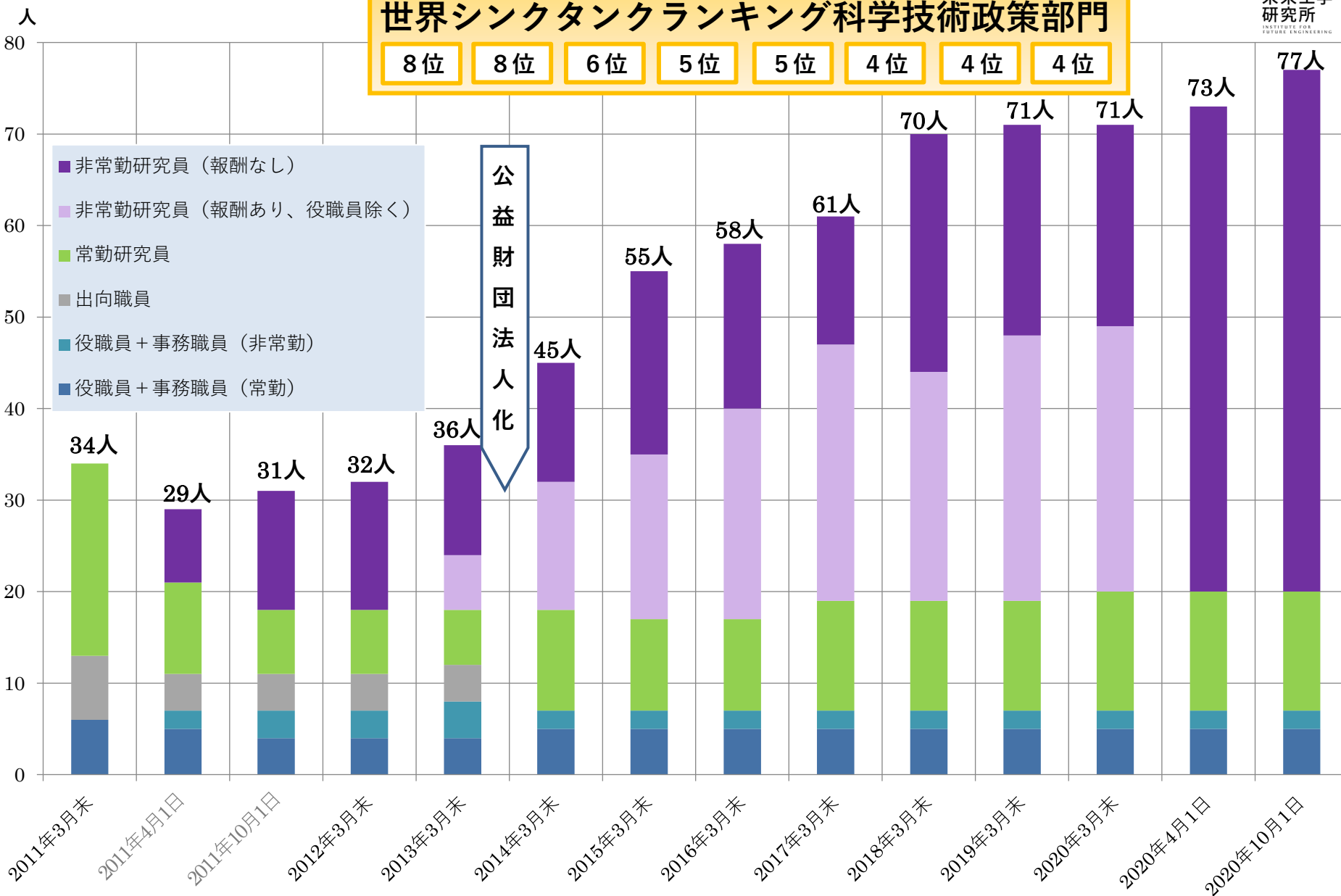
4位

4位

4位

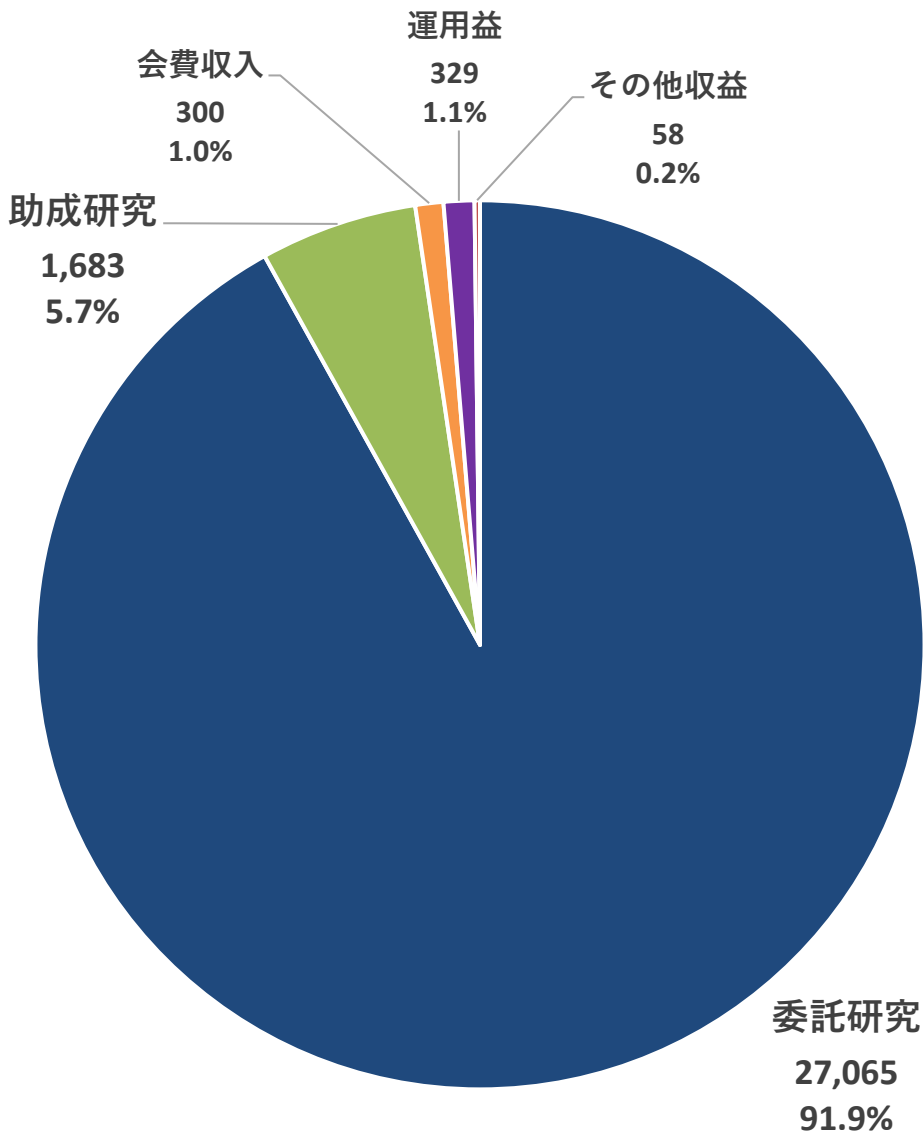
公益
財
団
法
人
化

- 非常勤研究員（報酬なし）
- 非常勤研究員（報酬あり、役職員除く）
- 常勤研究員
- 出向職員
- 役職員 + 事務職員（非常勤）
- 役職員 + 事務職員（常勤）



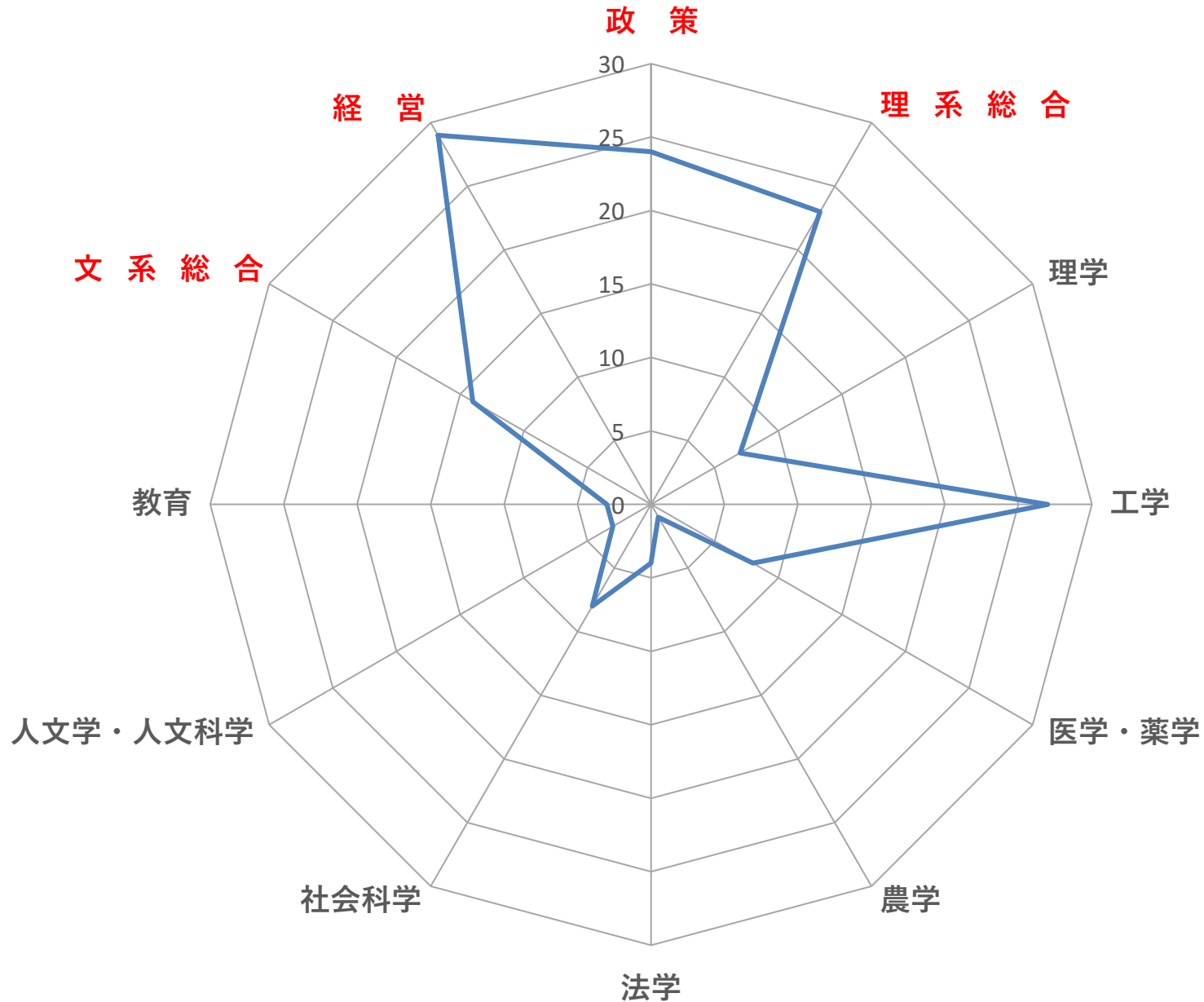
未来研の収入源(2019年度)と運営方式

経常収益の内訳(万円)

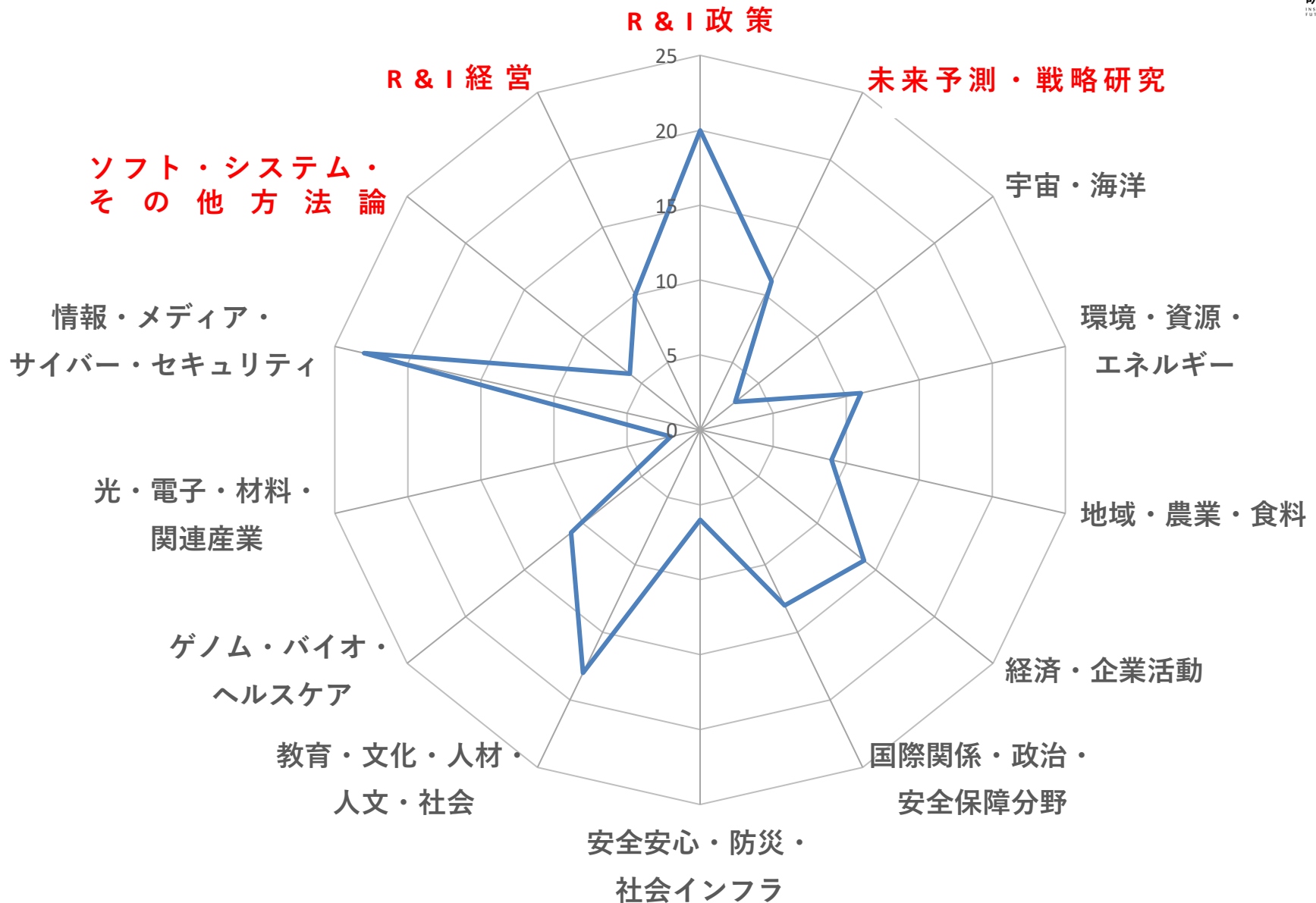


- ほぼ競争入札である委託研究で経営を成り立たせている
- 研究職員は成果管理の下で完全歩合制
- 新領域にチャレンジしないと生き残れない
- 助成研究で自らのテーマに取り組む

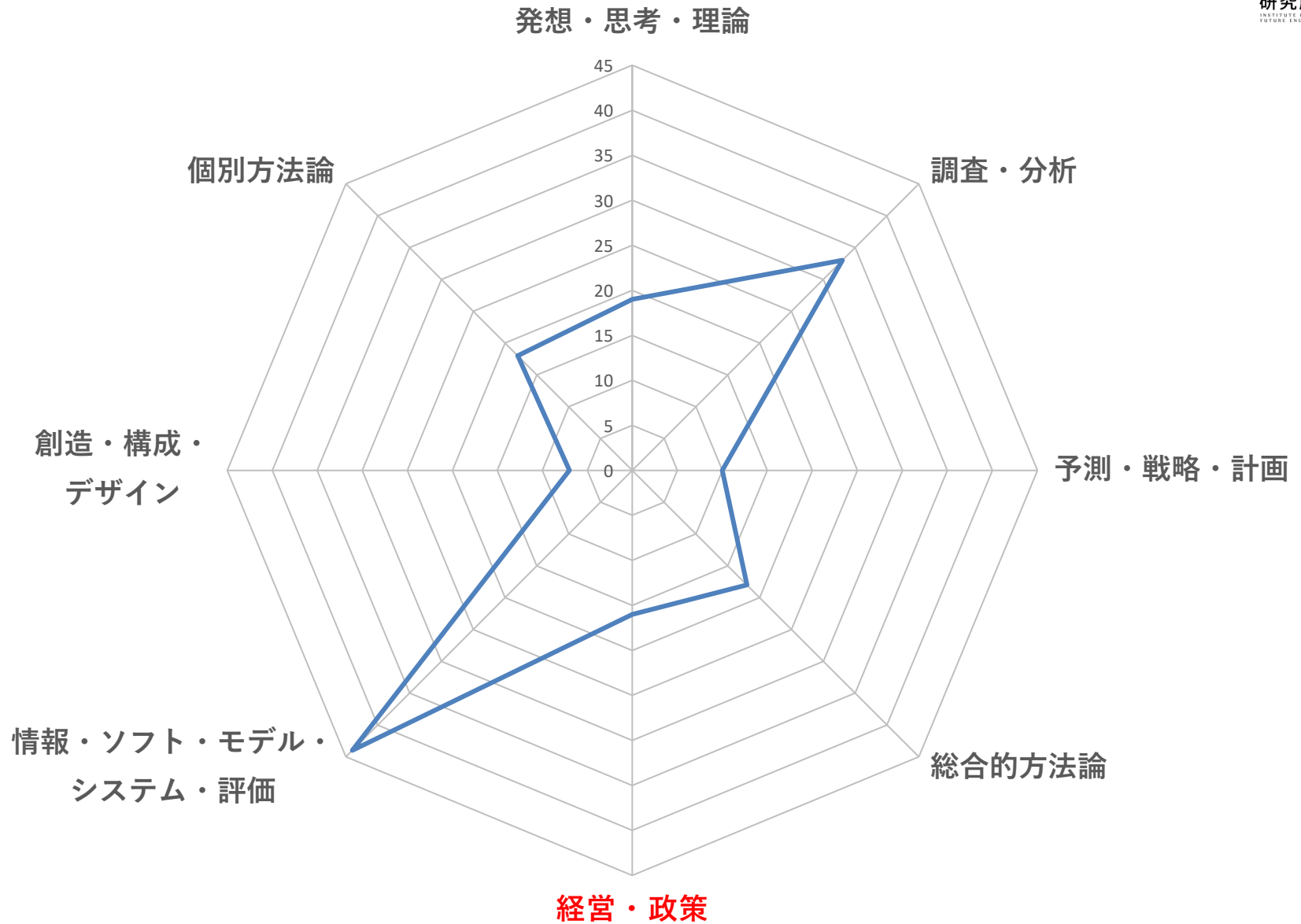
研究員の専門領域



研究員の関心事項



研究員のスキル、方法論



委託調査報告書から「調査」

対 象

- 各国の政策、特定政策、R&Iシステム、調達、輸出管理、投資規制
- 最新動向、将来展望、実現性、取組状況
- 指標、評価、特定手法、特定領域、先進事例
- オープンイノベーション、リスクコミュニケーション
- 光センシング、イメージング、構造ヘルスマニタリング、有望技術
- 企業の実態

実 施 方 法

- 比較・ベンチマーク
- ヒアリング、アンケート、文献調査
- 事例調査、現地調査
- 専門家
- 委員会、ワーキンググループ
- 講演会、パネル討論
- セミナー、ワークショップ

委託調査報告書から「分析」

対 象

- 大学発ベンチャーの課題、起業家人材の特性
- 規制がR&Iのアウトカムに与える影響
- 市民参加型政策立案活動
- 資金配分機関の国際的ベンチマーキング
- プライバシーの把握
- ICTサービスの将来像例
- ICTサービスの標準化動向
- ICTサービスの社会トレンド調査
- 行動変容
- グローバルシナリオの整理

実 施 方 法

- システム分析
- 情報分析
- 自然言語処理とネットワーク分析
- Webマイニング
- テキストマイニング
- 行動科学的分析
- 課題の抽出

- 機械学習のための教師データの作成ルール策定によるポリシー文章の解析システムの構築
- TLOを有効活用するための方法論の構築
- 地域イノベーションの自己点検指標の構成
- 戦略のポジショニングによる社会像の構想
- 科学技術の中長期的発展に基づく将来社会像の構想
- 社会的基盤と社会的受容に係る事例分析を手掛かりにして未来社会形成のための政策的対応に関する調査研究
- トランスディシプリナリー研究を支援するプログラム評価の在り方
- 「対話の仕掛け」を中心にしたワークショップの設計と運営
- 宇宙輸送戦略の立案

- 次世代人工知能の構想
- ディープラーニング（深層学習）を中心とする第3世代型人工知能の限界を探索する調査研究
- パーソナル情報の安全・安心活用のための技術開発の現状と課題解決に関する調査研究
- 外国人材の受け入れと日本社会
- 政策形成における数理モデルの利用：新型コロナウイルス感染症への対応を事例として
- AI時代における社会の分断化・個別化とその克服方策に関する調査研究
- 日欧米中の合成生物学のリスクの考え方とリスクアセスメントの取組みに関する調査研究
- わが国の原子力分野人材確保策の現状と課題及び課題解決の方向に関する調査研究
- 日本の科学技術力の現状：その実態と克服すべき課題を検証する
- 研究不正の告発者とその保護についての事例調査
- 障害者のSTEM教育、STEMキャリア支援についての比較調査研究
- 社会的インパクト評価に関する調査研究-知財活動による地域振興事例-
- 直接民主制の可能性－インターネットを使った政策シミュレーション
- 科学技術イノベーション政策の立案を支援するフォーサイト活用の基盤に関する研究
- 科学技術イノベーションの公共経営に係る調査研究：日本に適合的な概念・モデル・手法
- 我が国の科学技術研究におけるダイバーシティに関する調査研究：研究の選択と集中の弊害と評価
- 企業における将来技術予測活動に関する調査研究
- 我が国のグリーンイノベーション技術等の国際展開に関する調査研究
- 未来社会に関する検討情報についての調査研究～有識者による未来社会検討と将来の社会的課題の把握
- 科学技術を契機とする我が国未来社会形成のための政策的対応に関する調査研究－社会的基盤形成と社会的受容に係る事例分析を手掛かりにして－
- 科学技術の政策的課題選択における社会経済的課題を踏まえた“予測”と社会への反映に向けたアプローチの探索
- 科学技術イノベーション政策形成のための社会経済的課題把握に関する調査研究
- 日本の危機フェーズ2

■ STI政策の世界の潮流に係る調査分析

- 海外主要国の科学技術政策形成実施体制の動向（1998/03）
- 第3期科学技術基本計画のフォローアップに係る調査研究 科学技術を巡る主要国等の政策動向分析 第3部 主要国等の科学技術政策の動向の横断的分析（2009/03）
- 第4期科学技術基本計画における科学技術イノベーションのシステム改革等の フォローアップに係る調査 報告書 別冊1： 主要国等における科学技術イノベーション政策の動向等の把握・分析（詳細版）（2014/03）
- 第5期科学技術基本計画のレビュー及び次期科学技術基本計画の策定に関する調査・分析等の委託最終報告書 （1） 主要国等における科学技術・イノベーション政策の動向等の調査・分析（2020/03） （2） 我が国及び国際社会の将来像に関する調査・分析（2020/03）

■ 科学技術予測調査

- 第4回～第11回科学技術予測調査の支援（1987/03）～（2020/06）

■ 知識基盤社会の特性を踏まえたシンクタンクモデルへの進化

- ネットワークプラットフォーム型

真に有効な知識やスキルは社会に分散して存在していて、それらを一つの組織内に囲い込むことは不可能故、内部リソースの構成だけではなく、外部リソースも国の内外に渡ってネットワーク型で繋ぎとめています。

海外のSTI政策研究者とのネットワークは、上記の4プロジェクトを中心に強化再生してきました。また国内の重要なネットワークは、技術予測のパネリストの方達を中心に形成されています。



公益財団法人

未来工学研究所

INSTITUTE FOR FUTURE ENGINEERING